

若草萌ゆる

校長 北村 比左嘉

例年より早く、ケヤキの並木が青々と芽吹き、ハナミズキも咲き始める陽気で、近隣の幼稚園の藤棚には可憐な花が付いています。急ぎ足の春にどことなく忙しさを感じながら迎えた始業式でしたが、昨年度の修了式で紹介した桜の花の話を振り返り、多様性と共生について問いかけ、焦ることなく一人一人がその花を咲かせる努力をたゆまずに続けることを呼びかけました。そして、その手伝いを全力でしていくことを約束しました。新入生173名を迎え、全校554名で令和5年度の学校生活が始まりました。今年度も感染防止対策等を徹底し、生徒の健康を最優先に対応しながら、更なる教育の質の向上を図り、「夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた子供たちの育成」を目指していきます。

子供たちの健やかな成長には、家庭と地域と学校が一体となって、一人一人を見守り、励まし、支えていくことが必要です。保護者、地域の皆様には、本年度も変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。



🌸 育てたい姿

- 思いやりの心をもち 他と共に生きる人
- 心身を鍛え たくましく生きぬく人
- 知性を磨き 個性を生かす人

🌸 目指す学校像 ～厚い信頼関係で結ばれた学校～

- 生徒が自らの成長を実感でき、学ぶ喜びと自信をもって主体的に学び、生きる力を伸ばす学校
- 教職員が使命感に溢れ、専門性を高めるとともに、一人一人の生徒に寄り添い、大切に育む学校
- 教師・生徒・保護者・地域が厚い信頼と絆で結ばれ、安全で安心して楽しい生活を送れる学校

今日4月14日は、ヒトゲノム計画完了宣言がなされてからちょうど20年となります。その後も技術革新によって研究が進み、昨年の4月にはついにヒトゲノム完全解読を達成したとの発表がありました。ヒトは23対の染色体をもつ哺乳類です。一組の親から生まれる子の遺伝子の組み合わせは約70兆通りの可能性があります。更に時代、地域、文化的な環境、そして出会う人、物事等、経験は千差万別であり、一人一人がかけがえのない奇跡の存在です。互いのパーソナリティを生かす「社会」であることの大切さを深く思います。

全ての生徒が安全に安心して学校生活を過ごし、学びを深めることができることは、学校の最も大切な基本です。一人一人の特性に寄り添いつつ、必要な配慮を他の生徒の利益を損なうことなく実践していきます。日頃の生活の様子からは、本人の困り事が周りの人には気付かないことも多くあります。それぞれの状況に応じて対応を工夫していきたいと思っております。ご理解とご協力をぜひともお願いいたします。

《香料などの自粛のお願い》

本校は、皮膚の健康保持等の理由で、日焼け止めやハンドクリームを使用する際などにも、無香料の物を使用するようにお願いしています。このことは、理科の観察・実験や給食などの場面でも、安全管理と学習効果の観点からとても重要なことです。また、敏感な人は、香りによって気持ちが悪くなって体調を崩すこともあります。ごくわずかな化学物質により頭痛や吐き気など心身に様々な症状が現れることもありますので、学校では、消毒液、ワックス、防臭剤およびインク等々も使用には十分に気を付けております。ご家庭におかれましては、ぜひご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。例えば、給食当番の白衣の洗濯でも、無香料で自然由来の洗剤等の使用など、できる限りご協力をいただけますようお願いいたします。最近では洗剤、柔軟剤等々にも様々な香料が使われています。生徒の日常生活での使用や、保護者・地域の皆様のご来校の際にも、ぜひともご配慮をお願い申し上げます。

在校生歓迎の言葉

温かな日差しが降り注ぎ、葉桜が萌えいつる季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。こうして皆さんを迎えることができ、在校生一同嬉しい気持ちでいっぱいです。

ほとんどの皆さんが期待と不安を胸に三原台中学校の門をくぐったことでしょう。私も二年前は皆さんと同じ気持ちでこの入学式を迎えていました。しかし、今はその気持ちが懐かしいと思えるくらい充実した学校生活を送ることができています。ですので、安心して新生活を楽しみにしてください。

さて、中学校と小学校ではいくつか異なることがあります。今日は数ある違いの中から3つを紹介したいと思います。

一つは、勉強についてです。科目ごとに先生が変わったり、授業時間が50分間になったりと異なる点はいくつかあります。特に定期考査が行われることが大きな違いです。定期考査は年に5回あり、複数の単元が範囲に含まれます。努力すればするほど力がつき、それが点数に結び付くと達成感を味わうことができます。皆さんも中学生になったことをきっかけにより計画的に勉強に取り組んでみてください。

次は、部活動についてです。本校の部活動は、運動部・文化部ともに大会やコンクールに向けて日々練習しています。練習をしている中で、つらい、苦しいと感じるときもありますが、仲間の支えがあり、毎日楽しく活動できています。部活動では友達を作るきっかけとなったり、上級生と関係を築く良い機会にもなります。仮入部で自分に合った部活動を見つけてみてください。

最後に学校行事です。三原台中学校の二大行事は、運動会と合唱コンクールです。その他にも学年ごとに校外学習や宿泊行事などがあります。私は、運動会ではクラスの仲をより深めることができたと感じています。苦手だった大縄跳びで優勝できたとき、仲間と抱き合って喜んだことを今でも覚えています。どの行事も自分たちで作り上げていくものであり、大変で苦しい気持ちにもなりますが、その分、より多くのやりがいを感じることができます。クラスの仲間と協力して行事を作り上げることで、仲が深まったり、全力で楽しむことができたりと、必ず皆さんの思い出のページとなるでしょう。

三原台中学校では、しばらくの間、新型コロナウイルスの影響で行事を行うことができませんでした。しかし、昨年度から、先生方のお力添えにより、例年に近い形で開催することができました。私たちがその思いを受け取り、今までに負けない新しい伝統と一緒に作り上げていきましょう。

これからの学校生活で不安を感じる日が来るかもしれません。そのときは、私たちや先生方に頼ってください。いつでも相談に乗ります。これからは、三原台中学校の生徒であるという自覚をもって、共に三原台中学校での生活を充実したものにしていきたいと思います。

最後になりましたが、新入生の皆さんの未来が輝かしいものとなることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

新入生入学の言葉

柔らかな風が春の訪れを知らせてくれているようです。暖かな太陽の光が照らすこの三原台中学校に、私たちは、今日、入学することができました。本日はこのような立派な式を行っていただき、ありがとうございます。

私は、小学校でアンテナを高くすることを身に付けました。この言葉は小学校でお世話になった担任の先生がよくおっしゃっていた言葉です。私はアンテナを高くすることで、いろいろな人の話を注意して聞くことができるようになり、いろいろな情報に対して敏感になることができました。ですから、私はそのことを中学校でも生かしていきたいです。

もうスタートした中学校生活ですが、私の心は不安と期待でいっぱいです。ここにいる新入生の皆さんもきっと同じだと思います。私は不安を拭き去るために何を頑張ったら良いか考えてみました。考えついたのは、勉強です。私はとても飽き性であり、何か目的を決めてもすぐにやめてしまいます。ですから、勉強もなかなかかどりませんでした。中学校の勉強は一つ一つが専門的になり、量も増えます。それに、定期考査では何か月分もの内容を一度に解かなければなりません。中学校の勉強は毎日の復習が鍵になっていくと思うので、毎日コツコツと勉強できるようになりたいです。そんな中学校生活で楽しみにしているのは部活動です。部活動は小学校にはない活動であり、先生方や先輩方と一緒に活動できるので、たくさんの部活動を体験し、自分に合った部活動を三年間続けていきたいです。

これからの三年間、様々な事がある中学校生活で、間違った方向へと進むようなことがあれば、先生方、先輩方、地域の皆様、厳しくも温かいご指導をお願いします。